

令和4年度

事業報告書

公益財団法人 川崎市シルバー人材センター

令和4年度事業報告

概要

令和4年度は、急激な円安やウクライナ情勢の影響等による物価高騰などとともに、昨年度から引き続く新型コロナウイルス感染症の影響が続き、第8波では、令和5年に入り連日発表される死者数が過去最多となるなど多難な年となりました。

一方で、令和5年5月からは感染症法上の位置づけを2類感染症から5類感染症へ変更される等、明るい兆しも見え始めており、経済社会活動が正常化に向かい、景気が持ち直していくことが期待されているところです。

このような状況の中、川崎市シルバー人材センター（以下「当センター」という。）においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも感染対策を行いつつ、自粛していた受注拡大に向けた活動を再開したことで、公共受注の新規及び追加発注などもあり、昨年度に比べ、契約金額は増加しました。

会員数につきましても、令和4年度は3年ぶりに一部の区で開催された区民祭に参加し、市民の方へのPR活動の再開や、老人福祉施設での会員募集広告入ポケットティッシュの配布、タウン情報誌への会員募集記事の複数回掲載、新たな取組として新規会員の入会を効果的に推進することを目的とした「家族・友人紹介制度」導入など、実行可能な取組を実施した結果、令和4年度は、令和3年度の入会者数である459人を上回る473人の入会者がありました。

新しい生活様式への対応やデジタル化の加速など、シルバー人材センターを取り巻く環境は急激な変化を続けています。当センターにおいても、国の「シルバー人材センター等デジタル化整備促進事業」を活用しながら会員増強、就業機会の拡大にも繋がる「会員のICTリテラシーの向上」、「デジタルツールを活用したコミュニケーションの向上」、「会員のスキルを活かした就業マッチング」などの取組を実施し、会員の利便性の向上及び業務の効率化等に努めてまいります。

また、令和5年10月から適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入が予定されており、会員にお支払いする配分金に含まれている消費税分の仕入れ税額控除が段階的に認められないことになり、センターでは新たな費用負担が発生することになります。

全国シルバー人材センター事業協会においても、引き続き仕入控除ができる特例措置を設けて、インボイス制度の適用除外となるよう、関係省庁等へ要望を行っていましたが、特例措置については実現困難な状況となりました。

当センターといたしましては、この間、他都市のセンター等とも連携して研究・検討を行い、対応を検討するとともに、川崎市に対して支援と協力を要請し、当面の措置として令和5年4月以降、川崎市からの受注については、事務費率を12%に改定させていただくことといたしました。

今後も感染症や物価高騰のリスクへの対応に万全を期しながら、再び動き出した会員増強・受注拡大の活動がさらに加速されるよう、会員・役職員が一丸となって取組を進めてまいります。

葬祭場運営事業については、平成26年度から「かわさき南部斎苑」及び「かわさき北部斎苑」の第3期指定管理者として民間事業者と共同で事業運営を行っています。

令和4年度は、第4期指定管理（令和2年度～令和6年度）の3年目でしたが、火葬件数については、令和3年度に比べ、753件増の13,041件でした。また、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬件数も、令和3年度に比べ115件増の344件と著しく増加したため対応に追われました。

このような状況に対応するため、南北斎苑での夏期・冬期の友引日開苑や、1日あたりの最大火葬受入件数を、南部斎苑において2件、北部斎苑において1件前年度より引き上げ、各々24件としたことにより、令和4年度火葬計画の12,400件を上回る件数の火葬を実施することができました。

I 公益目的事業－1（シルバー人材センター事業）

1 会員の増強と育成

令和4年度は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、会員増強を図るため、例年同様に川崎市が発行する情報誌「楽笑」への会員募集記事の掲載、川崎市が満70歳の市民に発送する高齢者特別乗車証明書に会員募集チラシの同封、タウン情報誌への募集記事の掲載回数増などの取組を着実に実施してまいりました。

こうした取組に加え、新たな普及啓発活動として各事務所から地域班の会員へ協力依頼を行い、会員の自宅外壁に会員募集ポスターの掲示、本部及び各事務所で使用している車両への会員募集広報用マグネットシートの掲示やのぼり旗のリニューアルを行いました。女性会員入会促進としては、新たに女性会員募集チラシを作成し、関係各所へ配架し入会促進に努めました。

また、新規会員の入会を効果的に推進することを目的とした「家族・友人紹介制度」を導入し、8月から実施いたしました。

さらに、川崎市政だより2月号『特集「働きたい」を応援したい』の中で、当センターを紹介する記事が掲載され、その反響からか入会についての問合せが増加してきています。以上の取組などを行った結果、新規入会者数は473人、会員数は6,309人で、前年度に比べ271人（4.5%）の増加となりました。

新規会員の入会動機の上位3位は、「経済的理由」29.8%、「生きがい、社会参加」26.0%、「健康維持・増進」24.5%で、前年度1位の「経済的理由」が今年度も1位となりましたが、4位の「時間的余裕」の割合が増加していることについては、物価高騰や新型コロナウイルス感染症の影響を含む複合的な要因による失業や労働時間の減少などが一因していると推測されます。

植木・除草班の組織活動ではコロナ禍のなかでも、各事務所にて少人数による新人説明会等を積極的に行って新規班員の加入を促し、班員の増強を図りました。

会報誌「シルバーかわさき」については、より親しんでいただけるよう、頭の体操にもなるクロスワードパズルなどを掲載、正解者に抽選でQUOカードをプレゼントする取組を始めるなど誌面の充実を図りました。

◇会員数・会員の状況

	令和3年度末 会員数	令和4年度		増加数	令和4年度末 会員数	前年度対比
		入会者数	退会者数			
男 性	3,923 人	285 人	128 人	157 人	4,080 人	104.0%
女 性	2,115 人	188 人	74 人	114 人	2,229 人	105.4%
合 計	6,038 人	473 人	202 人	271 人	6,309 人	104.5%

◇事務所別入会登録会員数

	入会登録会員数		
	男性	女性	合計
南 部	107 人 (111 人)	72 人 (76 人)	179 人 (187 人)
中 部	73 人 (84 人)	51 人 (60 人)	124 人 (144 人)
北 部	105 人 (81 人)	65 人 (47 人)	170 人 (128 人)
合 計	285 人 (276 人)	188 人 (183 人)	473 人 (459 人)

※()内は令和3年度の実績

◇入会動機

	経済的理由	生きがい、 社会参加	健康維持 ・増進	時間的余裕	仲間作り	その他	計
男 性	86 人 (96 人)	61 人 (68 人)	77 人 (78 人)	55 人 (28 人)	4 人 (4 人)	2 人 (2 人)	285 人 (276 人)
女 性	55 人 (58 人)	62 人 (57 人)	39 人 (41 人)	28 人 (26 人)	1 人 (0 人)	3 人 (1 人)	188 人 (183 人)
合 計	141 人 (154 人)	123 人 (125 人)	116 人 (119 人)	83 人 (54 人)	5 人 (4 人)	5 人 (3 人)	473 人 (459 人)
割 合	29.8% (33.6%)	26.0% (27.2%)	24.5% (25.9%)	17.5% (11.8%)	1.1% (0.9%)	1.1% (0.6%)	100% (100%)

※()内は令和3年度の実績

◇新規入会会員の促進活動

配布・掲載媒体等	活動・掲載期間	活動及び掲載内容	配布・設置部数
会員募集・仕事依頼 A 4チラシ	通年	地域包括支援センター、シルバーハウジング・福祉住宅、老人いこいの家、老人福祉センター、社会福祉協議会（市・区）にチラシを配架等	随時補充
	通年	各区役所、支所、出張所等庁舎にてチラシの配架	随時補充
会員募集 B 5両面チラシ	毎月 1 回	川崎市が市内在住で満 70 歳の高齢者に郵送する高齢者特別乗車証明書の封筒に同封	16,481 枚
会員募集・仕事依頼 ティッシュ配架	10/1～	川崎区を除く各区の老人福祉センターにチラシ付きポケットティッシュを配架	1,500 個
川崎市協働連携ポータルサイトつなぐっと KAWASAKI 掲載	通年	当センターの会員募集案内を掲載	-
楽笑	夏号	川崎市高齢者在宅サービス課発刊のシニア世代の情報誌にセンター入会案内等を掲載	7,300 部
地域情報誌掲載 タウンニュース	10/14 号 3/3 号	地域情報誌タウンニュースにて会員募集記事を掲載	全市
アゼリア川崎 川崎市広報 コーナー展示 (新川通り側)	3/17～3/31	当センターの会員募集及び仕事募集のパネル展示	1 箇所

◇会報編集委員会開催状況

開催日	内 容 (会員・職員編集委員による会報誌の編集会議)	出席 人数	事務所
6/24	会報「シルバーかわさき」における会員参加型記事の企画について、会報誌第87号(7月号)の編集、第88号(10月号)の編集について等	10人	本 部
9/22	会報誌第87号(7月号)について、第88号(10月号)の編集について、第89号(1月号)の編集について等	9人	本 部
12/19	会報誌第88号(10月号)について、第89号(1月号)の編集について、第90号(4月号)の編集について等	10人	本 部
2/24	会報誌第89号(1月号)について、第90号(4月号)の編集について、第91号(7月号)の編集について等	8人	本 部

◇会報誌の発行部数

発行号	第86号	第87号	第88号	第89号
発行月	令和4年5月	令和4年7月	令和4年10月	令和5年1月
発行部数	6,600部	6,700部	6,700部	6,800部

◇ホームページ閲覧状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	1,924件 (1,842件)	2,505件 (1,981件)	2,355件 (2,039件)	1,825件 (1,867件)	1,959件 (1,683件)	2,102件 (2,113件)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2,153件 (1,925件)	1,749件 (1,952件)	1,463件 (1,393件)	2,253件 (1,670件)	3,215件 (1,570件)	2,682件 (1,995件)	26,185件 (22,030件)

※()内は令和3年度の実績

◇地域班会議開催状況

会 議 名	内 容	事務所
全体連絡会議	新型コロナウイルスの影響により中止	本 部
事務所連絡会議	新型コロナウイルスの影響により中止	南 部
		中 部
		北 部

◇職群班活動状況

職群班	会 議 名	開催日	内 容	事務所
除草班	事務所グループリーダー会議	2/17	グループ編成、事故等について	中部
	事務所グループリーダー会議	2/27	グループ編成、事故等について	北部
植木班	事務所グループリーダー会議	2/17	グループ編成、事故等について	中部
	事務所グループリーダー会議	2/27	グループ編成、事故等について	北部

◇講習会、研修会等実施状況

講習名	開催日	内 容	参加人数	会 場
除草説明会	4/22	センターで初めて除草作業をする方への除草班の仕組み及び作業方法等の説明	1人	南部事務所
	5/13		各1人	中部事務所
	8/30			
	11/18			
	3/16			
	4/27		2人	北部事務所
	6/16		1人	
	9/22		2人	
	10/13		各1人	
	12/9			
	3/9			
植木説明会	6/30	センターで初めて植木作業をする方への植木班の仕組み及び作業方法等の説明	1人	南部事務所
	8/19		1人	中部事務所
	10/11		2人	
	12/22		1人	
	10/13		2人	北部事務所
植木班グループリーダー研修会	4/22	植木班グループリーダーの職務等について	各1人	中部事務所
	12/21			
	2/15		1人	北部事務所
大工新人説明会	8/29	センターで初めて大工作業をする方への作業方法等の説明	各1人	中部事務所
	11/18			

2 就業機会の拡大・受注開拓

市に対して新規受注の依頼を積極的に実施するとともに、3年ぶりに開催された区民祭に参加し、PR活動などを行った結果、昨年度に比べて、受託事業の受注件数は60件(1.1%)増加し、5,349件となりました。契約金額についても、公共受注である施設管理に加えて、市立病院への来院者の発熱チェック業務、市立病院内における物品等の搬送業務及び高齢者特別乗車証明申請窓口案内業務等の新規発注があったこともあり、昨年度に比べ約3,768万円(4.2%)増加し、約9億2,864万円となりました。

一方、労働者派遣事業については、派遣先の手スーパーが当センターへの業務発注を一部削減していることなどから、契約金額は昨年度と比べ、約1,890万円(17.0%)減少し、約9,209万円となりました。

また、派遣事業については、県シ連が設置し、県内のシルバー人材センターが構成員となっている派遣事業推進対策会議において、「派遣運営方法の統一」、「事務処理の効率化」、「資金の効率的な運用」の課題整理を行い、令和5年度からは方式を変更し事業を実施することになりました。

◇職群別契約実績状況

	令和3年度			令和4年度			
	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	前年度対比 (%)
技 術 パソコン指導等	13	2,463,283	0.3	12	2,634,709	0.3	107.0
技 能 植木、大工、塗装、 襖・障子の張替等	2,085	65,358,498	7.3	2,014	62,871,751	6.8	96.2
事 務 受付事務、宛名書き 筆耕等	30	12,154,019	1.4	32	13,556,589	1.4	111.5
管 理 放置自転車対策、 駐輪場管理、 施設管理	172	221,611,529	24.9	183	235,746,182	25.4	106.4
折衝・外交 販売、配達、配布等	16	4,028,402	0.5	5	3,512,230	0.4	87.2
軽 作 業 清掃、除草、 カゴカート整理等	2,612	543,200,535	60.9	2,757	565,114,199	60.8	104.0
サービス 家事援助、子育て支 援、福祉施設での仕 事等	361	42,141,858	4.7	346	45,206,146	4.9	107.3
合計	5,289	890,958,124	100.0	5,349	928,641,806	100.0	104.2

◇公共・企業・個人別実績状況

	令和3年度			令和4年度			
	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	前年度対比 (%)
公共	173	132,242,129	14.8	171	147,331,733	15.9	111.4
企業	1,063	623,422,860	70.0	1,091	651,186,110	70.1	104.5
個人	4,053	135,293,135	15.2	4,087	130,123,963	14.0	96.2
合計	5,289	890,958,124	100.0	5,349	928,641,806	100.0	104.2

◇就業会員実績

	令和3年度	令和4年度	前年度対比
就業実人員	1,781人	1,801人	101.1%
就業延日数	200,638人日	209,218人日	104.3%
配分金額	787,895千円	828,698千円	105.2%
1人月平均就業日数	9.3日	9.6日	103.2%
1人月配分金額	36,865円	38,344円	104.0%
就業率	29.5%	28.5%	1.0ポイント減

◇福祉・家事援助・子育て支援事業実施状況

区分	受注件数	就業延人員	契約金額
福祉サービス	16件	2,141人日	9,343,249円
家事援助サービス	202件	8,356人日	22,719,325円
子育て支援サービス	121件	2,012人日	6,841,749円
合計	339件 (352件)	12,509人日 (12,240人日)	38,904,323円 (39,205,305円)

※()内は令和3年度の実績

◇地域サポート事業実施状況

受注件数	就業延人員	契約金額
155件 (176件)	302人日 (340人日)	981,243円 (1,242,329円)

※()内は令和3年度の実績

◇就業機会創出活動状況

創出員数	活動日数	訪問件数合計	新規	既存
1人	120日	736件	430件	306件

◇コーディネーター活動状況

職種	人数	活動日数	会議日数	訪問面談件数 (コーディネート)
家事援助・子育て支援	5人	84日	4日	77件

◇家事援助・子育て支援チラシ配架

チラシ種類	活動及び掲載内容	期間
家事援助・子育て支援チラシ	各区役所庁舎管理担当課への事業説明とチラシの配架依頼	随時補充

◇事業の普及啓発及び広報活動状況

配布物内容等	実施期間 (掲載期間)	方法等	配布枚数
ひとり親家庭サポート ガイドブック	通年	川崎市発刊のひとり親家庭向けガイドブックに掲載 (家事援助・子育て支援案内)	7,000部
ホッとこそだて・たかつ (子育て情報ガイドブック)	通年	川崎市発行の子育て情報ガイドブックに掲載 (子育て支援案内)	7,000部

◇会員及び班等による普及啓発・広報活動状況

区民祭でのPR活動	10/15	南部	9人	「幸区民祭」でのPR活動 ポケットティッシュ配布(2,500個)
	10/16	中部	7人	「宮前区民祭」でのPR活動 ポケットティッシュ配布(1,500個)

例年、地域班による戸別チラシ配布活動及び駅頭PR活動を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止いたしました。

◇労働者派遣事業（シルバー派遣事業）実績

派遣登録会員数	受注件数	主な受注内容	契約金額
409 人 (401 人)	325 件 (396 件)	スーパー食品等での加工部門業務、 商品管理業務等	92,091,921 円 (110,989,022 円)

※()内は令和3年度の実績

◇労働者派遣事業に係る職員向け講習会・研修会出席状況

開催日	内 容	出席人数	会 場
2/10	全シ協※1主催 派遣元責任者講習会	各1人	連合会館
2/22			

※1 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

◇労働者派遣事業に係る派遣会員向け研修会開催状況

開催日	内 容	出席人数	開催形式
12/22	守秘義務の徹底、個人情報保護とプライバシー保護について等	77 人	自宅学習形式

◇労働者派遣事業に係る会議等の出席状況

会 議 名	開催日	内 容	出席人数	会 場
派遣事業推進会議	5/24	県シ連※2主催の派遣事業の 担当による会議	各1人	かながわ 労働プラザ
	7/22			
	9/29			
	11/28			
	1/25			
	2/27			
他市との打合せ	7/14	インボイス制度の対応状況等 について	4 人	横浜市 SC

※2 公益社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会

◇高齢者有料職業紹介事業実施状況

求人相談件数	求人登録件数	求職相談件数	求職登録数	就職数	紹介手数料
0 件	0 件	0 件	0 人	0 人	0 円

◇高齢者職業紹介責任者講習会出席状況

開催日	内 容	出席人数	会 場
1/12	全シ協主催高齢者職業紹介責任者講習会	3 人	連合会館

3 安全・適正就業の徹底

令和4年度は、安全・適正就業委員会等を開催し、安全・適正就業の推進を図るため、就業現場の巡回を行うとともに、会員から「安全就業標語」を募集して、最優秀作品のポスター掲示及び会報誌掲載などの取組を行いました。

また、就業中の熱中症対策のため、ネッククーラーを屋外作業に従事する会員を中心に配布するとともに会報誌においても熱中症対策の啓発を行いました。

安全に対する意識向上を図るため、事故の発生状況、状況分析、事故原因の大部分を占める転倒事故への注意喚起を促す記事を会報誌に掲載するなどの取組を行いました。事故発生状況については、残念ながら前年に比べて会員傷害事故は10件、賠償責任事故は4件の増という結果になりました。

県シ連の川崎市事務所として当センターが行っている労働者派遣事業では、労働安全衛生法に基づき事務所に衛生委員会の設置が義務付けられているため、令和5年2月から衛生委員会を設置し、年度内に2回、委員会を開きました。

◇安全・適正就業委員会等の活動状況

活動項目	開催日	内 容	出席 人数	事務所
安全・適正 就業委員 会	6/28	令和3年度事業報告、令和4年度安全就業標語の選定等	11人	本 部
	2/28	令和5年度事業計画、令和4年度事故発生状況等	12人	
事務所 安全・適正 就業対策 会議	3/29	令和4年度第2回安全・適正就業委員会報告、次年度の安全・適正就業実施計画等	4人	南 部
	7/8	令和4年度第1回安全・適正就業委員会報告、熱中症対策、令和4年度巡回計画等	3人	中 部
	3/9	令和4年度第2回安全・適正就業委員会報告、次年度の安全・適正就業実施計画等	3人	
	7/14	令和4年度第1回安全・適正就業委員会報告、熱中症対策、令和4年度巡回計画等	6人	北 部
	3/30	令和4年度第2回安全・適正就業委員会報告、次年度の安全・適正就業実施計画等	6人	
事務所 安全・適正 就業対策 巡回指導	11/30	清掃作業（ショッピングセンター）	3人	南 部
	3/29	屋内軽作業（病院）	3人	
	7/4	除草作業（寺院）	2人	中 部
	12/6	施設管理等業務（公共施設）	3人	
	5/12	除草作業（企業敷地）	3人	北 部
	7/14	自転車等放置防止対策業務 （向ヶ丘遊園駅周辺）	4人	
3/30	駐輪場管理業務（登戸駅周辺）	6人		

◇安全講習会等の開催及び参加状況

講習名	開催日	内 容	参加人数	会 場
令和4年度 安全就業研修会	8/26	コロナ禍における高齢者の 健康管理と安全就業等につ いて	4人	かながわ 労働プラザ
令和4年度 適正就業担当者会議	10/25	適正就業について、他都市セ ンターにおける適正就業の 取組について	1人	オンライン

◇安全就業標語等の募集・表彰等

ア 安全就業標語（川崎市SC主催）

(ア) 応 募 … 71作品

(イ) 表 彰 … 最優秀作品「安全は、あせらず、急がず、無理をせず」

(ウ) 受賞者 … 夏虫 まき江(南部事務所)

◇事故発生状況

事故区分	会員傷害事故	賠償責任事故
発生件数	19件(9件)	7件(3件)

※()内は令和3年度発生状況

◇労働者派遣事業において、衛生委員会の設置・開催（毎月）

開催日	内 容	出席人数	会 場
2/9	衛生委員会のテーマ一覧(案)について他	7人	本部事務所
3/9	転倒・転落防止について、職場巡視報告他	6人	本部事務所

4 事業推進体制の強化

会員に支払っている配分金について、物価水準や最低賃金の状況等を考慮し令和4年10月に基準単価を改定するとともに、「植木・除草」、「家事援助等」の配分金単価の引き上げについても、過去の単価の推移や他都市の状況を踏まえ検討し、令和5年4月からの改定に至りました。

「シルバー人材センターにおける入会申込書等の取扱い」という全シ協からの通知に基づき、入会申込書の項目を整理し、令和5年度から個人情報保護や人権意識の高まりに配慮した様式に改めることとしました。

デジタル化においては、国が「シルバー人材センター等デジタル化整備促進事業」としてセンターにおける業務運営のデジタル化促進を行うこととなりました。当センターにおいても、この事業の活用方法や、会員の持つ長年培った資格・技術などの能力を活かした就業のマッチングのためのデジタルツールの活用について検討を行っています。

会員がスマートフォンの基礎知識を習得するためのスマートフォン講習会を開催しました。募集人数15名に対して約2倍のお申し込みがあり、多くの受講者からご好評をいただきました。

◇受託事業等による事務費収入等

	令和3年度	令和4年度	対前年対比
受託事業 受取事務費	94,081,315 円	91,253,385 円	97.0%
労働者派遣 事業手数料	12,889,963 円	11,383,874 円	88.3%

◇外部による定期経理監査及び決算監査

実施団体	実施内容	実施日
税理士法人河合会計事務所	経理全般に係る適正執行検査及び指導	毎月
	決算に係る適正執行検査及び指導	5/13

◇清掃ボランティア活動実施状況

実施場所	開催日	参加人数	事務所
JR 川崎駅周辺	9/25	10 名	南 部
JR 武蔵溝ノ口駅周辺	9/25	11 名	中 部
小田急新百合ヶ丘駅周辺	9/30	7 名	北 部
合 計		28 名	

◇市民向け講座の実施

実施内容	開催日	内 容	参加人数	開催場所
スマートフォン講習会	2/21	スマートフォンの基礎知識習得するための操作と文字入力、設定、アプリのインストール方法等について	15人	本部事務所

◇職員研修等の開催及び出席状況

名 称	開催日	内 容	会 場
NRI システムユーザー研修会	8/18 8/23	エイジレス 80 やコロボ 80+ 新機能の説明等	オンライン
令和4年度職員研修会	1/17	シルバー人材センターからの法的相談について等	かながわ労働プラザ
安全就業指導員会議	1/30	安全就業の現状と対策、伐木・草刈作業における注意点等	オンライン
令和4年度中堅職員研修	2/9 2/10	シルバー人材センターの中堅職員として果たすべき役割等	連合会館

◇市及び関係機関との会議等の出席状況

名 称	内 容	開催日	会 場
全シ協 定時総会	全国のセンター連合会及び拠点役員による法人の予算・決算執行に関する協議	6/23	中野サンプラザ
県シ連 定時総会	県シ連理事による法人業務執行に関する決議	6/15	ワークピア横浜
県シ連 理事会	県シ連理事による法人運営に関する議事審議等	6/2 11/17 3/15	かながわ労働プラザ
県シ連 事務局長会議	県内事務局長による事業の取組と情報交換等	5/26 11/2 3/2	かながわ労働プラザ
県シ連 専門部会	インボイス制度施行に向けた取組状況について等	6/2 11/17 3/15	かながわ労働プラザ
県シ連 安全対策検討部会	県内の事故発生状況等について	5/26 3/2	かながわ労働プラザ

県シ連 事故防止委員会	県内の事故発生状況及び対策等について	6/2 3/15	かながわ労働プラザ
政令指定都市 シルバー人材センター 実務者会議	全国の政令指定都市SC実務者による事業の情報交換等	11/24 ～11/25	静岡市産業 交流センター
政令指定都市 シルバー人材センター 代表者会議	全国の政令指定都市SC理事 長・事務局長による事業 への取り組み等情報交換	10/26	オンライン
就業支援にかかる情報交換 会	各就業支援関連事業の概 要説明、情報交換等	5/18	産業振興会館
多摩区地域包括支援センタ ー連絡会議	地域に根差した活動を展 開する地域包括支援セン ターと連絡を図るととも に、主に家庭での仕事(家 事援助、除草、植木)のセ ンターの現状を説明	6/14	多摩区役所
麻生区地域包括支援センタ ー連絡会議		6/15	麻生区役所
シルバー人材センター・ 高齢者在宅サービス課 連絡会議	所管課との連絡会議	8/4 11/24	本部事務所
麻生区高齢者見守りネット ワーク事業「安心見守りネ ット情報交換会」	所管課との情報交換	8/31	麻生区役所
		2/20	オンライン

◇会議等の開催状況

名 称	内 容	開催日	会 場
政策・経営会議	管理者による事業運営上の 課題等の協議	毎月	本部事務所
業務担当者会議	担当者による事業運営上の 課題等の協議	毎月	本部事務所
会報編集委員会	会員・職員編集委員による 会報誌の編集会議	6/24 9/22 12/19 2/24	本部事務所

5 第3期基本計画の推進及び事業計画目標値の的確な進行管理

令和4年度は第3期基本計画（令和2年度～令和6年度）の中間の年となっております。

会員数につきましては、コロナ禍で縮小していた登録会員拡大を目的とした普及啓発活動である区民祭への参加やタウン情報誌への会員募集記事の掲載に加え、新たに「家族・友人紹介制度」の導入などの強化を図りましたが、基本計画の目標数を下回る結果となりました。

受託事業の契約金額につきましては、公共受注である施設管理に加えて、市立病院への来院者の発熱チェック業務、市立病院内における物品等の搬送業務及び高齢者特別乗車証明申請窓口案内業務の新規受注があったこともあり、令和3年度に比べ、受注実績は回復傾向にありましたが、計画の目標金額までは届かない結果となりました。

労働者派遣事業につきましては、派遣先の手スーパーが当センターへの業務発注を一部削減していることなどから、契約金額が減少しました。

減少傾向に歯止めをかけるべく新規受注先の開拓や定年を迎える従業員がいる派遣先に当センターの労働者派遣事業への契約切り替えを勧めるなどしましたが、契約金額を回復するまでには至りませんでした。

令和4年度に基本計画における事業計画目標値の修正についての見直しを検討しましたが、社会経済状況の先行きが不明瞭なこともあり、現時点での見直しは行わないことといたしました。今後ともこれまでの実績等を検証しながら進行管理を行うことを確認しました。

◇会員数（ ）内は補正值

目標	実績	達成率
6,820人 (6,340人)	6,309人	92.5% (99.5%)

◇請負受託事業

目標	実績	達成率
955,000,000円	928,641,806円	97.2%

◇労働者派遣事業

目標	実績	達成率
111,040,000円	92,091,921円	82.9%

Ⅱ 公益目的事業－２（葬祭場運営事業）

1 葬祭場運営事業の取組結果

川崎市葬祭場の第４期指定管理者（指定管理期間 令和２年４月１日から令和７年３月３１日までの５年間）として、川崎市シルバー人材センターと富士建設工業株式会社が共同体を組み、「かわさき南部斎苑」と「かわさき北部斎苑」の葬祭場運営事業を行っていますが、令和４年度は次の３項目を取組方針とし、葬祭場の業務を遂行しました。

（１）公衆衛生の向上と公共葬祭場としての公平性の確保

令和４年度についても、休苑日である「友引日」のうち、毎年火葬需要が多くなる、夏期（８月～９月）に各斎苑２日、冬期（１２月～２月）に各斎苑６日を開苑し、火葬需要に対応することにより公衆衛生の向上に努めました。

また、川崎市が作成した斎苑の利用案内（利用ルール）に基づき業務を遂行し、公共の葬祭場としての公平性を確保しています。

（２）質の高い市民サービスの提供

葬祭場の業務を遂行するにあたり、質の高い市民サービスの提供に努めてまいりましたが、利用者アンケート等では、様々なご意見やご要望をいただきました。指定管理者として対応が可能なことは速やかに対応し、市民サービスの向上に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、令和３年度から引き続き、式場の利用人数制限などを実施したため、利用者の方々にはご不便をおかけすることになりました。

（３）適正な業務の遂行と効率的な事業運営

川崎市と川崎市シルバー人材センター及び富士建設工業とで締結している「川崎市の葬祭場運営に関する基本協定書」並びに川崎市が作成した南北斎苑の利用案内（一般の方用と葬祭業者様用。）に基づき、利用者の方々にご満足いただけるよう適正に業務を遂行しました。

新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬の対応につきましては、一日あたりの火葬受付件数を制限して実施していましたが、令和４年９月の厚生労働省の通知を踏まえて、令和５年１月から火葬受付件数の制限を解除するなど一般火葬と同様の取扱いとしたことで、冬期の火葬需要の増加に対応することができました。

2 葬祭場運営事業の執行体制等

(1) 職員の配置

事務等の管理部門はシルバー人材センターが、火葬部門については国内各地の火葬場で火葬業務を担っている富士建設工業株式会社が運営しています。

管理部門については、シルバー人材センター本部に、葬祭場運営事業を統括し、南北斎苑の連絡調整を行う斎苑管理グループリーダー1名と派遣職員1名を配置、事業運営が円滑に行われる体制としています。

かわさき南部斎苑には斎苑長1名、副斎苑長1名、常勤職員1名、嘱託職員2名、派遣職員2名を、かわさき北部斎苑には斎苑長1名、副斎苑長1名、常勤職員1名、嘱託職員3名、派遣職員1名を配置しました。

両斎苑では斎苑長を含め各7名の職員が、予約の受付、式場の管理、葬祭業者等との連絡調整などの業務を行っています。

火葬部門については、共同体の構成員である富士建設工業株式会社が火葬炉の運転業務・保守点検業務等を担い、かわさき南部斎苑には所長1名、主任1名、職員8名の計10名を、かわさき北部斎苑には所長1名、主任1名、職員9名の計11名を配置し、円滑に業務を運営しています。

(2) 葬祭場運営会議

葬祭場に係る管理・運営上の問題や利用者からの要望等に的確に応えるため、川崎市、シルバー人材センター本部、南北斎苑及び富士建設工業株式会社で構成する葬祭場運営会議を毎月1回開催し、事業方針や川崎市からの要請等、両斎苑の抱える課題等について情報を共有し、課題解決に向けた協議を進めるなど、円滑な事業運営への取組みはもとより、市民サービスの向上に資するように努めています。

(3) 斎苑連絡会議

シルバー人材センター事務局長、斎苑管理グループリーダー、かわさき南部斎苑長、かわさき北部斎苑長により毎月開催している連絡調整会議で、シルバー人材センター本部と南北斎苑の間で情報を共有するとともに、各斎苑の課題解決、川崎市からの要望等への対応などの協議をしています。

※各会議の開催状況

名称	内容	日程	会場
葬祭場運営会議 (川崎市・共同体)	葬祭場運営上の課題等の協議	毎月	川崎市健康福祉局会議室
斎苑連絡会議 (シルバー人材センター)	シルバー人材センター本部と両斎苑長による連絡調整会議	毎月	川崎市健康福祉局会議室

3 火葬等業務運営状況

(1) 火葬業務

火葬業務は 火葬の受付、火葬の執行、収骨までを行うもので、令和4年度は年間12,400件を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑6,144件、かわさき北部斎苑6,897件の合計13,041件で、達成率は105.2%でした。

新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬については、令和4年9月に発出された厚生労働省の通知に基づき、市と協議を重ね、火葬受入件数の制限を解除し、適切に対応したことや、両斎苑において1日あたりの火葬件数の上限を引き上げたこと等により、計画を上回る件数を達成することができました。

なお、新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬件数は、かわさき南部斎苑195件、かわさき北部斎苑149件、合計で344件でした。

(2) 休憩室貸出業務

休憩室貸出し業務は、遺族等の方々に火葬終了までの間、お待ちいただくために休憩室の貸出しを行うものであり、南北両斎苑で年間8,500件の利用を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑4,097件、かわさき北部斎苑5,316件の合計9,413件で、達成率は110.7%でした。

(3) 斎場貸出業務

斎場貸出業務は、通夜及び告別式を行うために斎場の貸出しを行うものであり、南北両斎苑で年間2,300件を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑1,511件、かわさき北部斎苑1,062件の合計2,573件で、達成率は111.9%でした。

(4) 遺体保管業務

遺体保管業務は、斎場で葬儀をされる場合に、葬儀が行われるまでの間、霊安室において遺体をお預かりする業務であり、南北両斎苑で年間500件を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑192件、かわさき北部斎苑314件の合計506件で、達成率は件数で101.2%でした。

(5) 友引日開苑

火葬需要が増加する夏期と冬期に休苑日である友引日の一部を開苑しました。

夏期については、8月から9月に実施し、南部斎苑は8月5日、9月2日の友引日に開苑しました。北部斎苑は8月23日、9月14日の友引日に開苑しました。

冬期については、12月から2月に実施し、南部斎苑は12月9日、12月21日、1月6日、1月18日、2月4日、2月16日の友引日に開苑しました。北部斎苑は12月15日、12月31日、1月12日、1月23日、2月10日、2月20日の友引日に開苑しました。

令和5年度につきましても、火葬件数の動向を注視し、開苑日数等を川崎市と協議のうえ実施いたします。

事業実施状況

() は令和3年度実績

区 分	年間計画	実 績	率
火葬件数	12,400 件 (12,000 件)	13,041 件 (12,288 件)	105.2% (102.4%)
休憩室貸出件数	8,500 件 (8,300 件)	9,413 件 (8,735 件)	110.7% (105.2%)
斎場貸出件数	2,300 件 (2,600 件)	2,573 件 (2,302 件)	111.9% (88.5%)
遺体保管件数	500 件 (600 件)	506 件 (425 件)	101.2% (70.8%)

友引日開苑の事業実施状況

() は令和3年度実績

区 分	南部斎苑	北部斎苑	計
火葬件数	163 件 (129 件)	183 件 (158 件)	346 件 (287 件)
休憩室貸出件数	89 件 (64 件)	110 件 (96 件)	199 件 (160 件)
斎場貸出件数	33 件 (21 件)	22 件 (18 件)	55 件 (39 件)
遺体保管件数	5 件 (2 件)	6 件 (6 件)	11 件 (8 件)

開苑日数：令和3年度 南部斎苑夏期3日、北部斎苑夏期3日
 南部斎苑冬期5日、北部斎苑冬期5日 合計16日
 令和4年度 南部斎苑夏期2日、北部斎苑夏期2日
 南部斎苑冬期6日、北部斎苑冬期6日 合計16日

4 葬祭場利用者アンケート

広く利用者のご意見・ご要望をお聞きし、利用者サービスの向上に役立てることができるよう、各斎苑の休憩室やロビー等にアンケート用紙を設置し、葬祭場利用者からサービス毎の満足度やご意見・ご要望をいただいております。

令和4年度は120名の利用者から、次のとおり回答をいただきました。(令和3年度は149名。)

【サービス毎の満足度】	極めて満足	満足	どちらとも言えない	あまり満足していない	満足していない
駐車場、警備	29	38	7	3	4
斎場（式場）	26	32	9	0	8
通夜式、葬儀、告別式	25	30	13	0	3
休憩室	24	36	10	3	4
売店	28	31	14	1	4
火葬、収骨	44	42	9	2	2
施設の清掃状態等	28	37	8	1	4
事務室	20	26	19	2	3

サービス毎の満足度では、「火葬、収骨」で「極めて満足」「満足」合計件数が86件86.9%、「駐車場、警備」で67件82.7%と高い評価をいただいたのははじめ、全体として75%以上の高評価をいただきました。

アンケート用紙の意見記入欄では、ご意見・ご要望・ご感想等を110件いただきました。内訳は、「トイレがきれいだった。」等のご意見が39件、「警備員の態度が良くない。」等の改善要望・苦情が71件となっており、改善要望・苦情のうちエスカレーター設置希望等の施設改修に係るもので指定管理者では対応が困難なものが20件、指定管理者が対応可能なものが51件でした。指定管理者が対応可能なものについては、要望に沿った対応、または代替手法で対応したものが41件、要望に沿った対応を見合わせたもの、または対応中のものが10件となっています。

今後も、アンケート用紙の設置場所の増設や、葬祭業者にアンケート用紙を配付するなど、今まで以上にご意見等をいただけるよう努めてまいります。

ご意見・ご要望・ご感想等の内訳

ご意見・ご感想	39件
改善要望・苦情	71件
指定管理者では対応が困難なもの	20件
指定管理者が対応可能なもの	51件
要望に沿った対応、または代替手法で対応したもの	41件
要望に沿った対応を見合わせたもの、または対応中のもの	10件
合 計	110件